

2016年8月5日

2016年カーボンブラック需要年央見直し

カーボンブラック協会

内閣府の7月の月例経済報告によると、個人消費はおおむね横ばいで推移し、設備投資も持ち直しの動きが見られ、先行きについても、各種政策の効果もあり、緩やかに回復に向かうことが期待される。ただし、中国をはじめとする新興国や資源国等の景気回復の遅れによる下振れリスクや、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まりとそれらの悪影響も懸念される。

こうした経済環境の中で、自動車タイヤの国内需要については(社)日本自動車タイヤ協会が、新ゴム消費量については(社)日本ゴム工業会が年央の見直しを発表した。

これによると、自動車生産台数は前年実績比2.4%減で、タイヤの国内需要は年初見直し比1.5%減としているが、一方、新ゴム消費予想量は、前年実績比でタイヤ用が0.4%増、タイヤ以外の一般ゴム用が2.2%増と年初時の見通しとほぼ同値である。

当協会は、(社)日本自動車タイヤ協会と(社)日本ゴム工業会の見直しをベースとし、その他カーボンブラックの輸出入の現在の状況も織り込み、本年のカーボンブラック需要の見直しを行った。その結果、カーボンブラック総需要(輸出・輸入込)は、年間で前年実績比100.8%となった。これは、年初見直し時の前年比増減率とほぼ横這いとなっている。

「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見直し」については、【表2】を、輸入見直しについては【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2016年年央見直しの指標

『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2015年実績		2016年年初見通し		2016年年央見直し	
	数量	前年比 (%)		前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
自動車生産 (台)	9,278,238	95	9,341,000	101	9,057,000	98
タイヤ生産 (トン)	1,057,570	94	1,068,610	100	1,061,800	100
一般ゴム生産 (トン)	263,130	97	272,790	102	268,900	102
新ゴム消費量計(トン)	1,320,700	95	1,341,400	101	1,330,700	101

【表2】 2016年カーボンブラック需要年央見直し

数量単位;トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2015年実績		2016年年初見通し		2016年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
タイヤ	530,900	94.3	535,374	100.2	531,962	100.2
一般ゴム	149,984	96.7	155,490	102.1	153,273	102.2
ゴム用計	680,884	94.8	690,864	100.6	685,235	100.6
非ゴム	37,116	97.7	37,000	99.7	38,000	102.4
内需計	718,000	95.0	727,864	100.6	723,235	100.7
輸出	48,091	98.0	49,500	102.9	49,000	101.9
[内ゴム用計]	12,577	100.0	14,700	83.6	19,000	151.1
総需要	766,091	95.2	777,364	100.7	772,235	100.8
[内ゴム用計]	693,461	94.9	705,564	100.2	704,235	101.6

【表3】 2016年カーボンブラック輸入動向年央見直し

数量単位;トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2015年実績		2016年年初見通し		2016年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
ゴム用	160,573	94.6	154,154	96.0	154,700	96.3
非ゴム用	15,880	94.6	15,246	96.0	15,300	96.3
合計	176,453	94.6	169,400	96.0	170,000	96.3